

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2012年 3月 20日

<p>テーマ名</p>	<p>【H23年度：テーマ1】新規創業企業・小規模企業が使えるオープンソース・フリーソフトの活用研究</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC千葉ネットワーク</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p><a href="http://www.itc-chiba.net/">http://www.itc-chiba.net/</a></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)三浦英晶 電話番号：08048091110 e-mail：miura_hide@ybb.ne.jp</p>	<p>(ITC千葉テーマ研究幹事)松下正夫 電話番号：090-6235-2927 e-mail：mapstar@kjc.biglobe.ne.jp</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>本研究は、以下の手順で進めた。</p> <p>①研究対象業種・仮想企業の設定 ②仮想企業における業務内容(支援内容)の想定 ③各業務に使えるソフトウェア・サービスのリサーチ ④ソフトウェア・サービスの選定 ⑤ソフトウェア・サービスの詳細調査(試用)</p> <p>本研究を通して、日頃、いろいろな人、Webなどから「このソフトが良い」という噂は聞いてはいたものの、本当にそれらが有効なのかという疑問に対して詳細に調査する良いきっかけとなった(“婦人服小売業”に研究対象を絞ってはいるが)。また、同じような機能を持つソフトウェア・サービスが複数存在する状況のなか、それらの機能・使い勝手を比較することができ、あまり噂になっていないような“掘り出し物”も発見することができた。</p> <p>本研究で取り上げたようなソフトウェア・サービスは頻繁にアップデートが繰り返されている。また、新たなサービスが次々と出てきており、移り変わりも激しい。こういったソリューションを定期的にもリサーチしておくことで、顧客からの「こんなことで困っている。こんなことをしたい。」といったニーズに対して、「それならばこういうソリューションがありますよ。」と即レスポンスできる幅が広がる。また、それをコンサルタント個人の知識でなくグループ内で情報を公開し共有することで数倍の情報をアップデートすることができる。</p> <p>さらに、本研究ではフリーもしくは低価格ソリューションの問題点・課題も明確になった(特にフリーの場合)。</p> <p>①マニュアルについて ②保守・アフターサービスについて</p> <p>実際に導入する際には、このような問題点(デメリット)と、フリー・低価格であること(メリット)を事前に顧客に説明し、合意を得ることが必須となるであろう。</p> <p>また、統合的なソリューションでない場合、ソリューション間のデータのやり取りの煩雑さも考慮する必要がある。もし、導入・運用費用が高価なソリューションであったとしても、データの連動性による作業量の軽減なども加味し、ソリューションを選定する必要がある。</p>	
<p>成果物</p>	<p>テーマ研究・調査活動報告書 「新規創業企業・小規模企業が使えるオープンソース・フリーソフトの活用研究」 (2012年3月12日)</p> <p>ITコーディネータ千葉ネットワーク・テーマ研究会・第1チーム 研究メンバー：大磯岳士、齋藤謙一郎、玉井治之、飛田宏紀、長谷川猛、藤平征也、三浦英晶、宮川政義</p>	
<p>事務局受付日 案件番号</p>		<p>2012/3/21 S11001</p>